



# 第1副地区ガバナー候補 中井 正力

## 11R1Z 東京新宿 LC

私は、2006年10月に東京新宿ライオンズクラブに入会を認められました。以来15年に亘り、自クラブの会員数確保・向上と例会および アクティビティの活性化に向けて努力を重ねて参りました。

今般は、クラブの総意により330-A地区第一副地区ガバナー候補に推挙され、謹んでここに所信を表明させて頂きます。

ライオンズクラブの素晴らしい第一は、“出会い”です。

多くのことを周りの方々から教えて頂き、今日の自分があると日頃より考えてきた私にとって、ライオンズクラブの尊敬できるメンバーとの出会いは生き方が変わる程に、私に大きな成長を与えて下さいました。

その感謝の気持ちをもって、以下の方針により330-A地区的発展に誠実に努めて参りたいと存じます。

### ◆ 表明その1 ◆

「大震災に備え減災への意識拡大に向けて活動強化」

全国の被災地に向けての支援活動は、もとよりライオンズクラブの奉仕活動の主力を成すものです。しかしながら、災害発生後である支援活動には、その限界もあります。被災地に充分な応援・援助が出来ているとは言えないこともあります。私共330-A地区では、東京直下型地震の発生確率が向う30年の間に70%と報道されています。

330-A地区的喫緊の活動テーマは、災害地支援活動もさることながら当地の「減災」に向けて備えていく活動ではないでしょうか。

もし仮に、東京に直下型の大地震が発生し、被災が拡大しようものなら復旧には莫大な労力と費用が必要になるでしょう。私たちの力の及ぶところではないことは自明です。大地震発生時には、いかに被災の程度を低く押さえることが出来ないかを考え・備える行動こそが活動の選択肢として重要なのではないでしょうか。「減災」に向けての啓蒙・啓発活動が、330-A地区の各所で地域に即応した対策として展開されることが肝要であると考えます。

### ◆ 表明 その2 ◆

「会員増強の重要性を強く主張し、組織の拡大に向け実践する」

ライオンズクラブの奉仕活動の社会的評価を高め認知度を更に広げて行くには、マンパワーの質と量を向上させることが必須です。我々の奉仕活動の数々は、社会の人々に「心の恵み」を与え、行政では成し得ない世間の歪みを矯正することに役立っています。「ライオンズクラブの活動拡大」は、「社会の幸せを拡大」させることになり、会員数を増して行くことは私共にとって崇高な使命であります。

ただ昨今、会員数だけを捉えて、その資質を議論しない点は、気になるところです。望まれる会員とはどこまでも「奉仕の活動主体になるマンパワーとしての役割を担える会員」であって欲しいものです。マンパワーに繋がらない「数」だけの会員数増加奨励思想は、組織の将来を危うくするものと考えます。何の為に同志を増強（会員増強）するのかを真摯に考え、奉仕の力を増す為の会員拡充に努めたい！！

### ◆ 表明 その3 ◆

「リジョン・ゾーン・クラブ間の連帯・連携強化を図りアクティビティの更なる充実を目指したい」

私はこれまでに多くのクラブを訪問させて頂き、貴重なアクティビティを勉強させて頂きました。楽しい例会の運営、更に実り多きアクティビティの拡充を進めるための合同例会や合同アクティビティの開催を一層推進して頂けますよう、精一杯それに向けたお手伝いをさせて頂きたいと思います。